

敷布団の手入れと処分に関する調査

西出 伸子・関口 典子

Survey for the Care and Disposal of Mattress

Shinko Niside・Noriko Sekiguchi

1. 緒 言

1日の疲れを癒すためには、清潔な心地よい寝具で十分睡眠を取ることが大切である。

小学校・中学校の教科書に、布団の手入れ等の記述はない。60年度版小学5年¹⁾の『わたしたちと家庭』では、家庭の仕事の分担例で『ふとんのあげおろし』が記載されているが、63年度改訂版以降では削除されている。

高等学校の家庭一般の教科書には、『生活時間と労力』²⁾³⁾⁴⁾の家事労働の分類に『寝具の手入れ・ふとん干し・ふとんの上げ下し』、『衣生活の管理計画例』⁵⁾⁶⁾に『夏用・冬用寝具の手入れ、寝具の乾燥』、『被服管理の社会化』⁴⁾に『ふとん乾燥業』等の言葉の記述はあるが、学校教育の場で布団の手入れについて学ぶ機会はほとんどないといっても過言ではない。

寝具の生活状況調査については平田⁷⁾が九州南部の離島甌島について、前川⁸⁾⁹⁾¹⁰⁾は長崎市等で行った。両者はいずれも寝具所有数が主である。前川は製法についても言及し、更にふとん布は1年に1度の洗濯が一番多いと述べている。高月¹¹⁾は東京都立高校生と教職員について寝具の使用状況、また、神戸

で住宅と寝具の所有実態¹²⁾に関して報告された程度である。

今日、生活が豊かになり大量消費時代を迎え、衣生活において既製品化が進んだ。布団も今までは手入れを行って、消耗するまで再利用するのが当たり前であったが、手入れはなおざりにされ、ごみとして廃棄されているようにも思える。

掛け布団の手入れは仕立て直しのほかに、羽毛布団や毛布と同様にクリーニングも行われていたが、敷布団の手入れは仕立て直しだけであった。しかし、昭和58年から木綿わた敷布団ランドリー法が開発され¹³⁾、都会では消費者に徐々に浸透しはじめてきた。そこで、家庭における敷布団の手入れの実態調査を行った。

2. 調査の概要

2-1 実施時期

1989年10月2日から11月3日に実施した。

2-2 調査対象

神奈川県横浜市南区私立関東学院高等学校の生徒と父母201名(横浜市140・東京23区12・川崎5・その他44)、横浜市南区八幡町

商店街の241名である。

2-3 調査方法

アンケート用紙留置法による、選択式（一部複数回答可）とした。

2-4 調査数

表1に配布数と回収数を示す。今回は、学校の回収率の方が低かった。

2-5 調査内容

アンケート用紙を別紙に示す。

表1 配布数と回収数

対象者	配布数	回収数
学 校	201 (45.5%)	150 (33.9%)
一 般	241 (54.5%)	237 (53.6%)
合 計	442 (100%)	387 (87.5%)

3. 調査結果

3-1 調査対象の特徴

(1) 性 別

回答者の性別を図1に示す。アンケートの回答者は女性が主で93.8%である。

(2) 年 齢

年齢構成は表2に示すように30~40代が約半数で最も多い。20才以下は14.5%で高校生

表2 回答者の年齢構成（人）

	女 性	男 性	合 計
20才以下	56	0	56 (14.5%)
20代	17	1	18 (4.7%)
30~40代	178	12	190 (49.1%)
50~60代	99	9	108 (27.9%)
70才以上	13	0	13 (3.3%)
無 回 答	2		2 (0.5%)
合 計	363	22	387 (100.%)

の回答である。

(3) 職 業

図2に回答者の職業を示す。学生を除く女性の自営業の割合は17.8%である。全国平均の女性労働人口（2,473万人）に対する自営業（732万人）の割合¹⁴⁾の29.6%よりも下回った。また、本調査の専業主婦の割合は39.0%で15才以上人口（5,059万人）に対する家事従事者（1,533万人）の割合¹⁴⁾の30.3%より多い。しかし、自営業・サラリーマン・パートタイマーを合わせると48.8%となり、有職主婦の方が多い。なお、公務員・理容師・歯科衛生士はサラリーマン、内職はパートタイマーに分類した。

図3によると世帯主の職業は自営業34.6%、サラリーマン56.6%である。家族従業者も含む男性の労働力人口に対する自営業（721万人）の割合¹⁵⁾は19.5%、雇用者（2,868万人）の割合は77.9%であり、本調査で自営業の割合が多いのは地域特性であろう。

(4) 家族構成

図4に家族構成と人数を示す。世代別では2世代家族が約73%を占め、核家族が多く構成人数も少ない。

(5) 住宅形式

図5に住宅形式を示す。地域特性から、商店が多く住宅が隣接し混み合っているが、一戸建てが77.3%と多い。また、景観に規制がないため、布団を干す時間に制約はないと思われる。

3-2 現在使用している敷布団の使用実態

(1) 敷き方

図6に敷布団の敷き方を示す。約67%が畳に布団を敷いて使用している。ベッド使用でも布団を使用しており、布団使用者は86%である。この事は、東京・新潟・名古屋・大阪の寝床に関する主婦調査¹⁶⁾の布団使用86.6%と同様である。

ベッド使用は、図7からも学生が多い。就

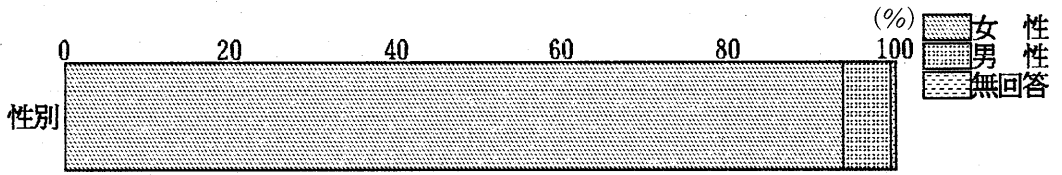


図1 回答者の性別 N=387

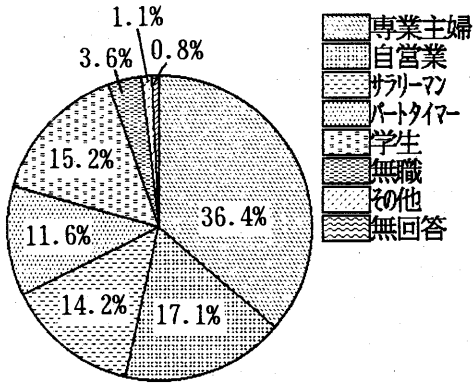


図2 回答者の職業 N=387

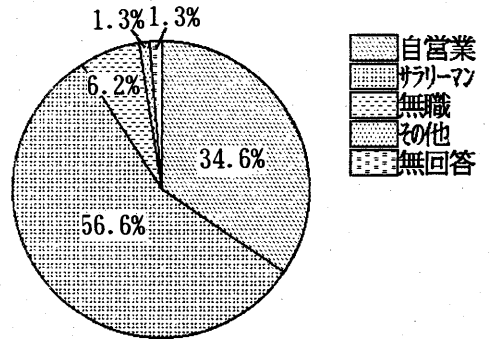


図3 世帯主の職業 N=387

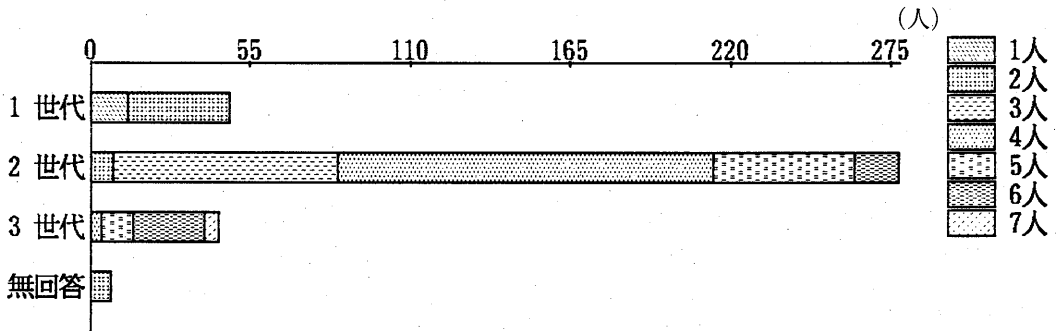


図4 家族構成と人数 N=387

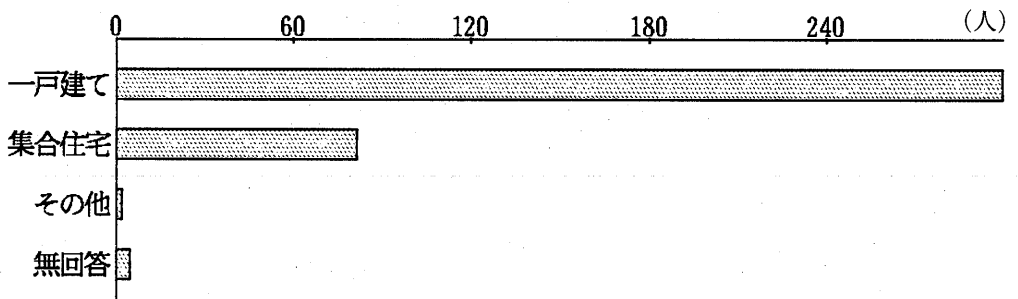


図5 住宅形式 N=387

寝様式の洋風化傾向は学生に多いが、ベッドパット使用の欧米式ベッド使用法は、一棟らの調査¹⁷⁾¹⁸⁾と同様に30.5% (59人中18人)と少ない。

(2) 使用枚数と年数

1) 使用枚数

本調査は、敷布団の手入れ方法を目的としているため、布団を使用していない人(ベッド+ベッドパット)は以下では除外し、表3に敷布団使用者の内訳を示す。

表3 敷布団使用者の内訳 (人)

	女性	男性	合計
20才以下	40	0	40
20代	9	0	9
30~40代	162	10	172
50~60代	89	9	98
70才以上	13	0	13
無回答	1		1
合計	313	19	333

図8に敷布団の使用枚数を示す。布団1枚とマットレス+布団の使用がほぼ同数で最も多い。

2) 使用年数

図9の敷布団の使用年数は、1~5年で新しい布団の使用が多い。回答者は30~40代の主婦が多いので、結婚年数を考えると5年から10年と推定されるが、比較的新しい布団を使用している。理由は、安価な布団が容易に購入できるため買い替えたか、仕立て直しの布団を新しい布団として回答したためと考えられる。

3) 中わたの種類

図10に敷布団の中わたの種類を示す。木綿わたが約60%を占め、化繊わたとの混合を含めると76%を占める。

最近では羊毛わたも宣伝・販売されているが本調査では12.6%である。その他には、羊毛わたと化繊わた・木綿わたと羊毛わたの混合、無圧布団等の健康布団もある。

実際に市場調査を行ったところ羊毛布団で1万円以下、木綿わた70%・ポリエステルわた30%布団が6,800円で手軽に購入できる価格である。このような布団を使用しているかどうか明らかではないが、価格の手頃さが布団の使用年数の新しい理由のひとつと考えられる。

(3) 布団の上げ下し

図11に布団の上げ下しの担当者を示す。自分で行っているものは全体では84.0%で、男性は23人中6人しかいない。30~40代の女性は約90%、50代以上になると83.3%になり配偶者やその他の人が行っている。この事は、『年を取ると重い布団を扱うのに苦勞する』(50~60代女性)との意見や寝具による不満についてのアンケート調査¹⁹⁾からも『重さ』に対する不満が一番多く、高齢になるにつれ布団の上げ下しが重労働になってくるためと思われる。

また“母”という回答は16人で、このうち学生が42人中10人、30~40代の女性が6人で職業は自営業4人、パートタイマー2人で有職人である。小学校5年の家庭科¹⁾で、布団の上げ下しは各自で行うよう指導されているが、“子供”(学生も含む)の回答は32人の9.6%で実際には実施されていない。

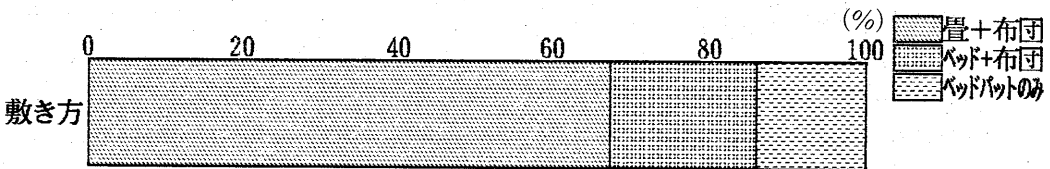


図6 敷布団の敷き方 N=387

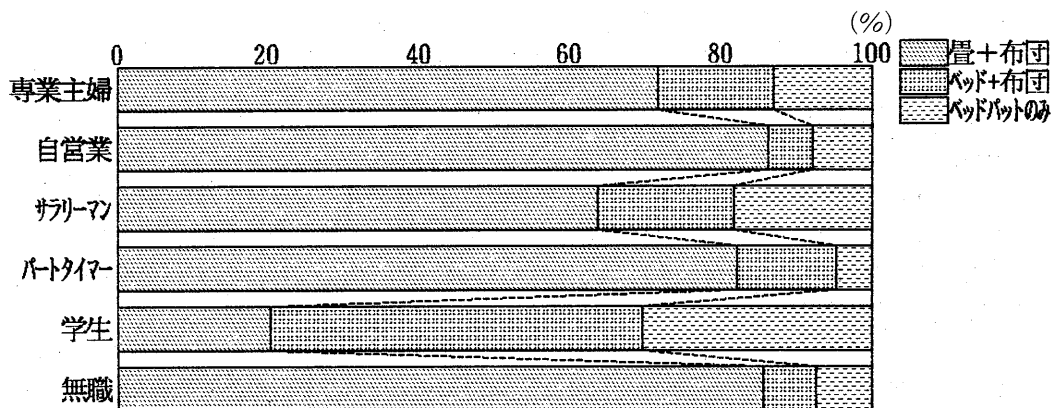


図7 職業別敷布団の敷き方 N=380

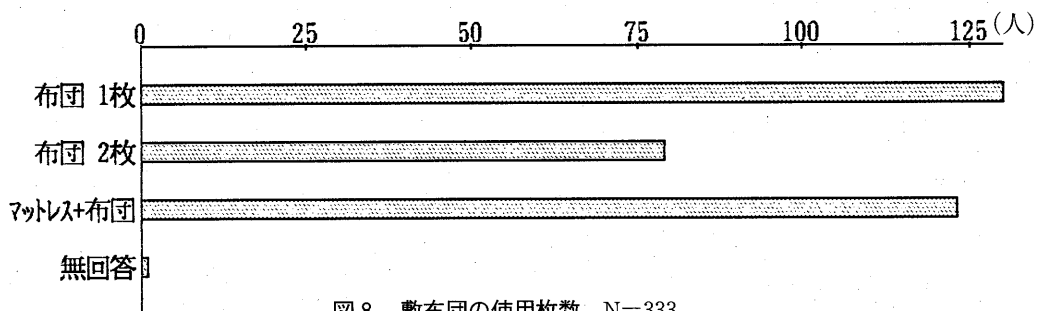


図8 敷布団の使用枚数 N=333

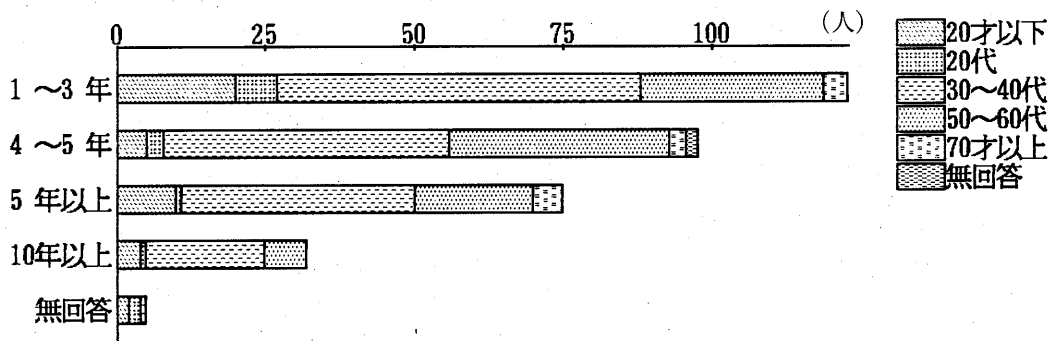


図9 敷布団の使用年数 N=333

3-3 敷布団の普段の手入れ

(1) 乾燥方法

図12に普段の手入れである敷布団の乾燥方法を示す。90.7%が布団に日光を当てて干している。布団乾燥機の使用は日干しとの併用を合わせても29人と少ない。

図13の日干しの方法では、干した後の処置として、従来から布団を叩くとわたの繊維が切れるので叩かないほうが良いとされているが、手軽に叩く・叩いて払うが82.1%である。また、ダニについて関心を持っている者がおり、掃除機をかけると埃もダニも吸い取り効

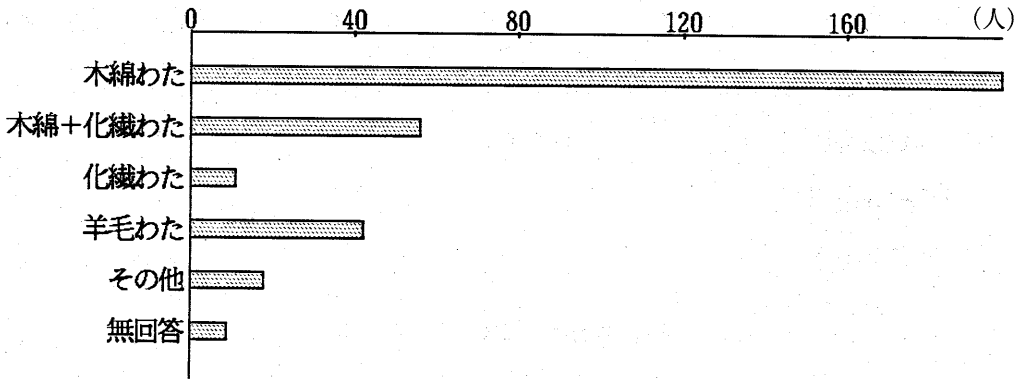


図10 敷布団わたの種類 N=333

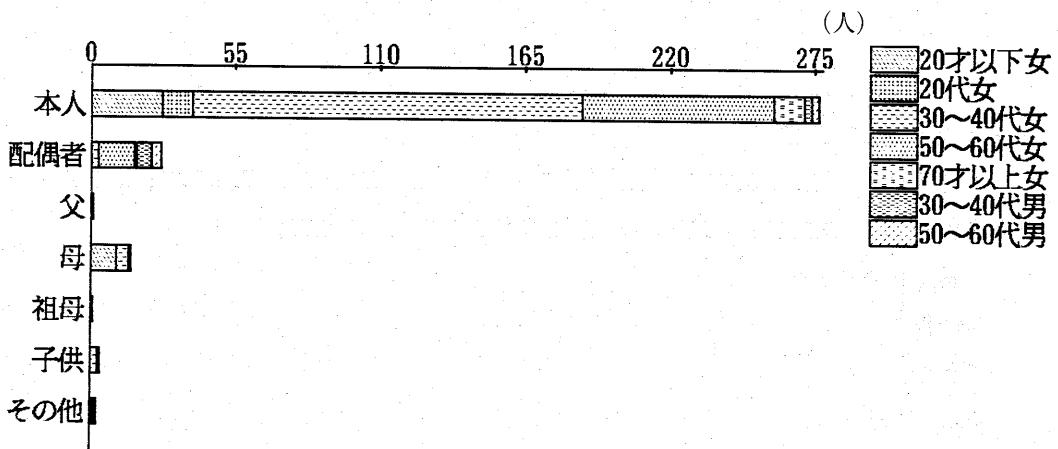


図11 布団上げ下ろし担当者 N=331

果的²⁰⁾²¹⁾²²⁾とされているが、手間がかかるため324人中4人しか行っていない。

(2) 日干し時間

木綿布団の天日干しの湿度変化によると、天日干しは3～5時間が適している¹⁹⁾²³⁾²⁴⁾。図14の日干し時間は、3～5時間が71.9%で最も多い。3時間以下は16.7%でこれらの住宅形式は一戸建て75%、集合住宅25%、職業で見ると有職者(学生を含む)24人、無職者(専業主婦と無職を含む)30人で布団を干す時間は住宅形式や職業の有無に関係ないようである。

(3) 日干し担当者

図15に示す様に日干しの担当者は、布団の上げ下ろしと同様に本人が最も多い。自分で布

団の上げ下ろしを行っている学生32人中19人が母親に日干しを依頼しているのは、時間的制約によると思われる。

(4) 日干しによる期待効果

日干しで期待する効果を図16に示す。“殺菌効果”が“ふくらむ・暖くなる”より多い理由は、最近、喘息やダニの駆除に対して天日干しの効果が明らかにされた為と考えられる。その他“気分が変わる・ひなたの匂いがする”などの意見もあり、日干しには精神的効果もあると思われる。

(5) 日常の手入れについての情報源

布団についての教育の場は図17に示す通り家庭が圧倒的に多く、学校や社会教育は少ない。

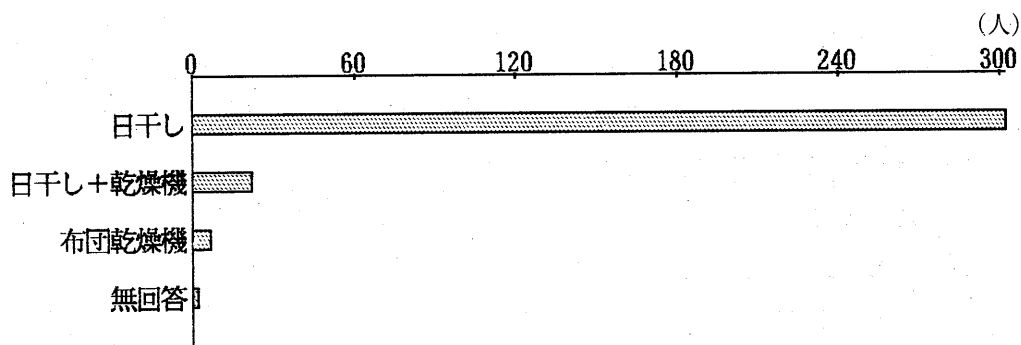


図12 敷布団の乾燥方法 N=333

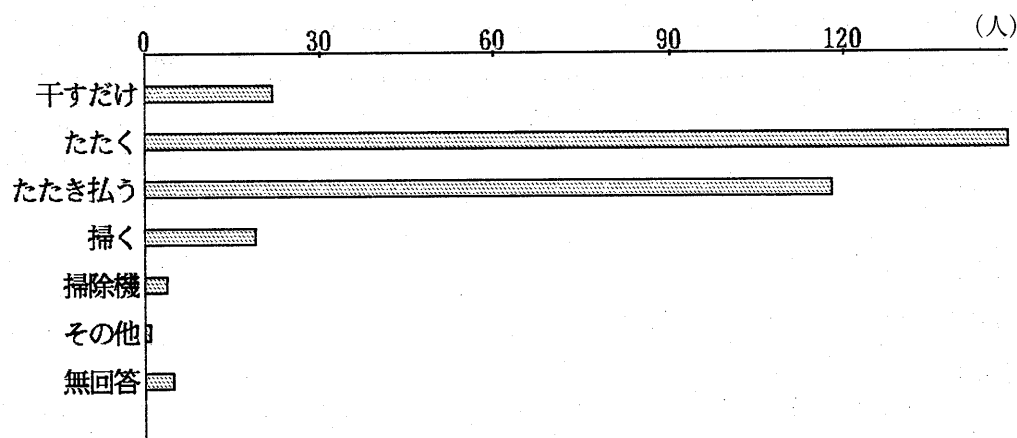


図13 日干しの方法 (日干しをする人のみ) N=324

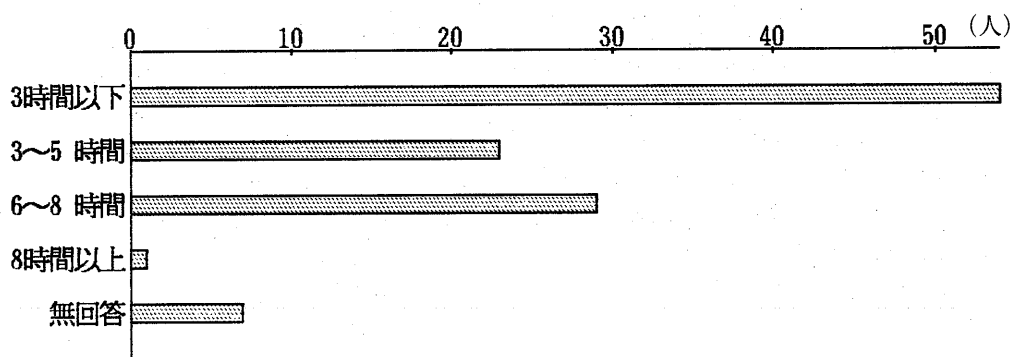


図14 日干し時間 N=324

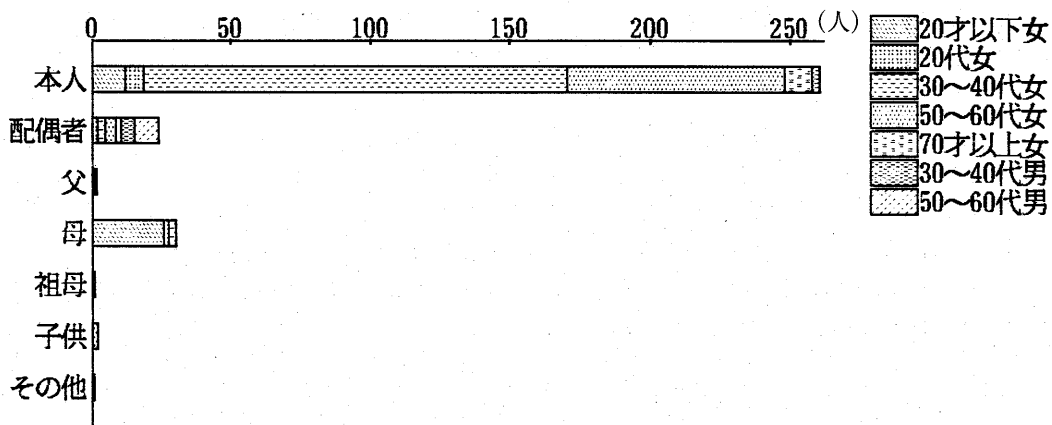


図15 日干しの担当者 N=324

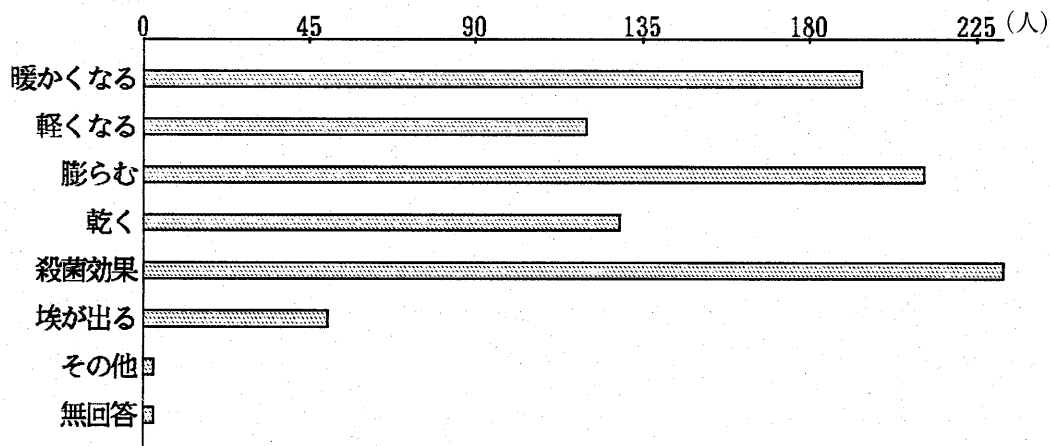


図16 日干しで期待する効果 (重複回答) N=942

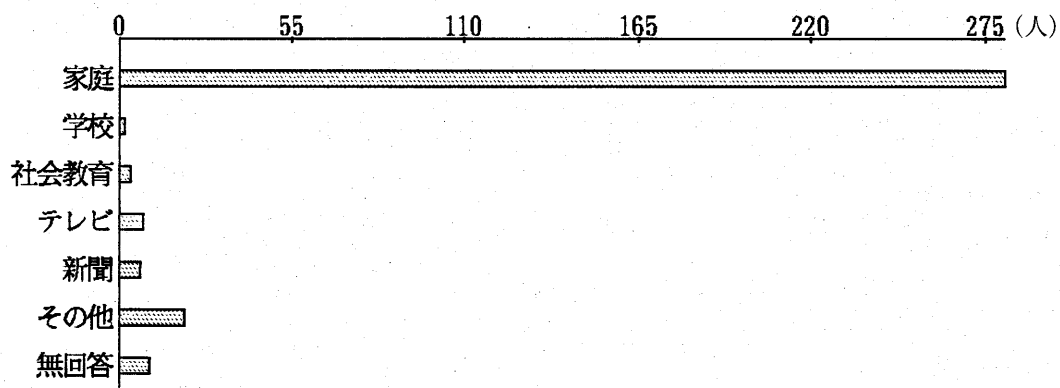


図17 布団についての教育の場 N=333

3-4 使用した布団の手入れ方法

(1) 仕立て直し

1) 仕立て直しの経験

仕立て直しの経験と経験者を図18, 19に示す。仕立て直しは76.6%が行っており、女性の50~70才以上は97%である。中でも70才以上の女性は13人中12人が経験している。

仕立て直しの実施場所を図20に示す。仕立て直しの経験がある人の90%以上が布団屋に依頼している。自分で行ったり、布団屋を利用し時々自分でもする人は21人の8.2%に過ぎない。自分で行った人の17人中11人が50~60代の女性で、30~40代は4人しかいない。このように自分で仕立て直しができ理由として、①技術の伝承が途絶えてきた。②わたを入れるための広い場所が確保できない、などの理由が考えられる。

2) 仕立て直しの情報源

仕立て直しの情報源は図21に示すように21

人中20人が家庭である。

(2) 布団の丸洗い

1) 丸洗い知識の有無

知識の有無と年代別の有無を図22, 図23に示す。85.6%が丸洗いについて知っている。女性は313人中269人の85.9%, 男性は19人中14人の73.7%が丸洗いを知っている。一般に若い人のほうが新しい情報に興味を示すものだが、50~60代女性・30~40代男性が90%以上知っており布団に関しては異なっているようである。

2) 丸洗い知識の情報源

知識の情報源は、図24に示すようにチラシ、テレビが多く、次いで口コミ、店頭広告の順になっている。昭和63年4月に文教大学生49名を対象の予備調査²⁵⁾では、テレビが1位で37.0%, クリーニング店27.8%, チラシ20.3%, 布団屋14.8%であった。情報の伝達はテレビコマーシャルで開始し、ある程度情

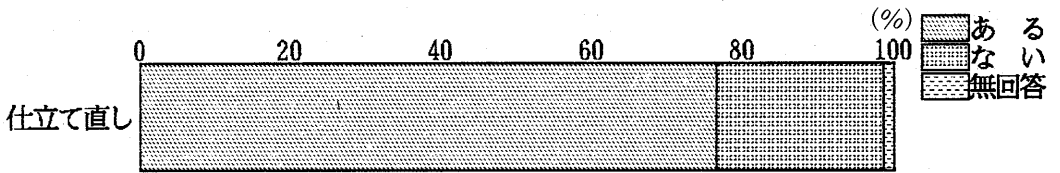


図18 仕立て直しの経験 N=333

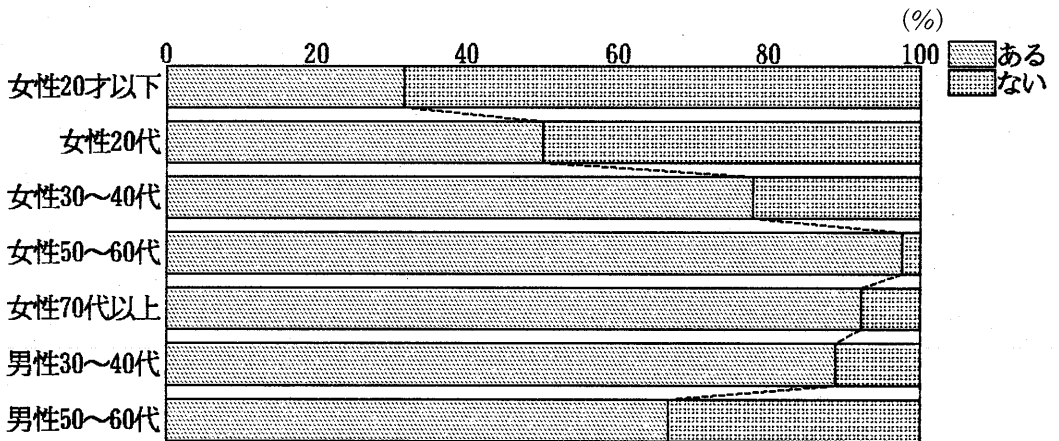


図19 年代別仕立て直し経験者 N=327

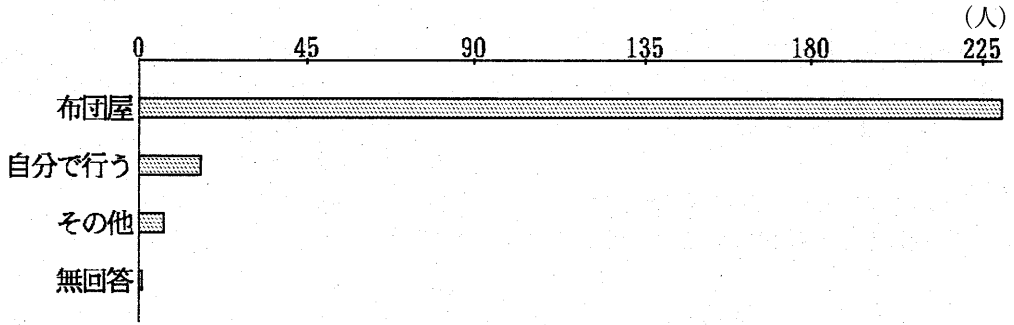


図20 仕立て直しの実施場所 (経験者のみ) N=255

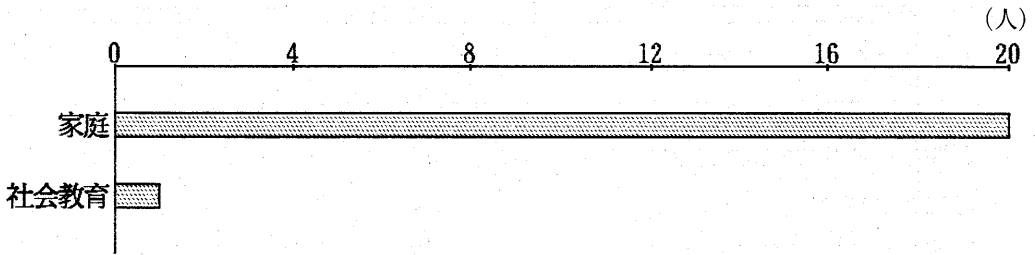


図21 仕立て直しの情報源 (自分で行う者、布団屋を利用し時々自分で行う者) N=21

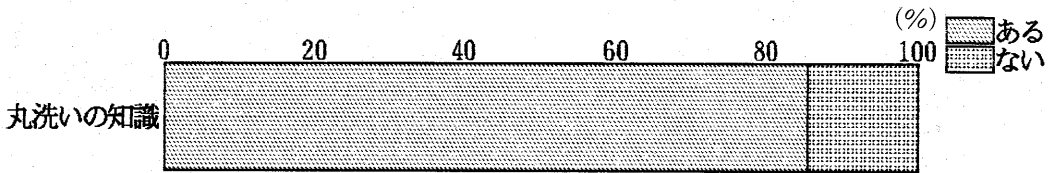


図22 丸洗い知識の有無 N=333

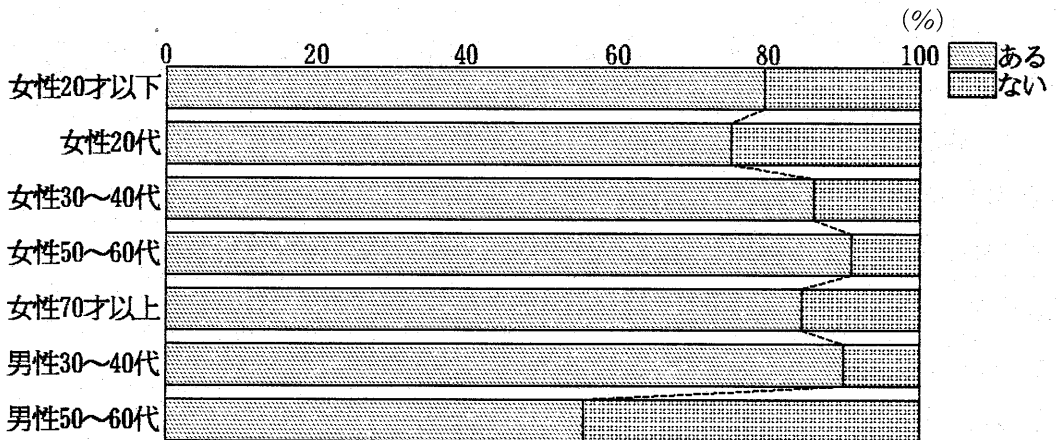


図23 年代別丸洗い知識の有無 N=331

報が浸透すると情報媒体が変化し、确实情報に移るが、この場合の情報入手の仕方も同様である。その他、“母・雑誌・広報・戸別訪問”などがある。

昭和63年の調査²⁵⁾では経験者がいなかったが今回は丸洗いの経験は図25に示すように

41人の12.3%が経験している。しかし、“丸洗い”という言葉は知っているが経験はない、というのが大勢である。

図26の経験者の年代を見ると、30～40代の男性は10人中3人の30%と多い。

3) 丸洗いの委託

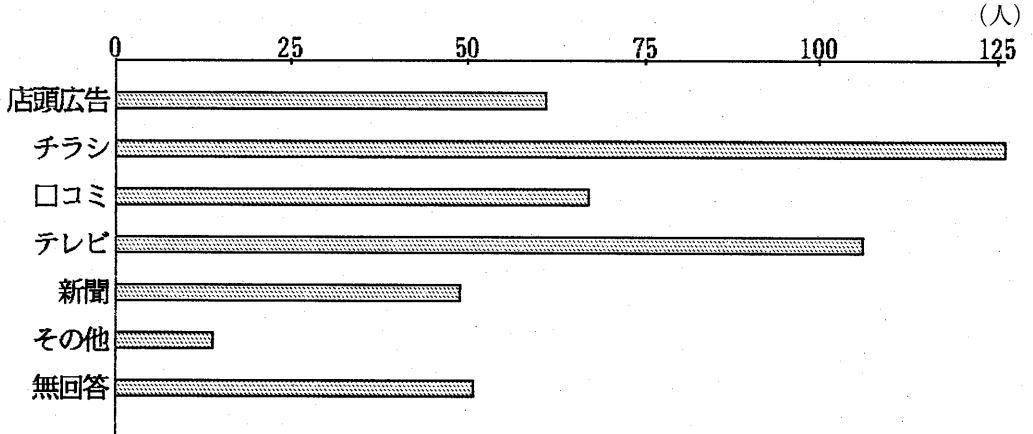


図24 丸洗い知識の情報源 (重複回答) N=474

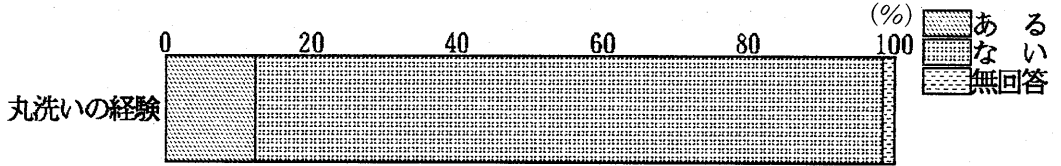


図25 丸洗いの経験 N=333

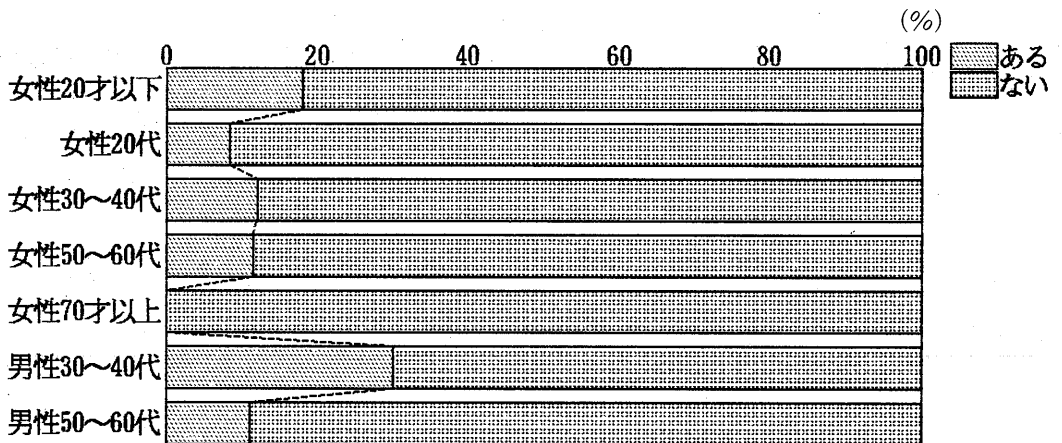


図26 年代別丸洗い経験者 N=328

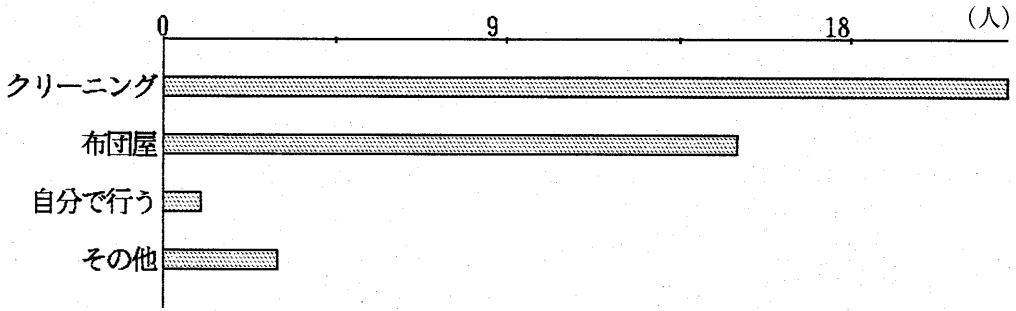


図27 丸洗いの委託 (経験者のみ) N=41

図27によると丸洗いの委託は、クリーニング店 (22人) と布団屋 (15人) でほとんど行われている。

3-5 古い布団の処理方法

古い布団の処理方法を図28、理由を図29に示す。“仕立て直しをして使う・他のものに作り替える・下取りをしてもらう”など資源

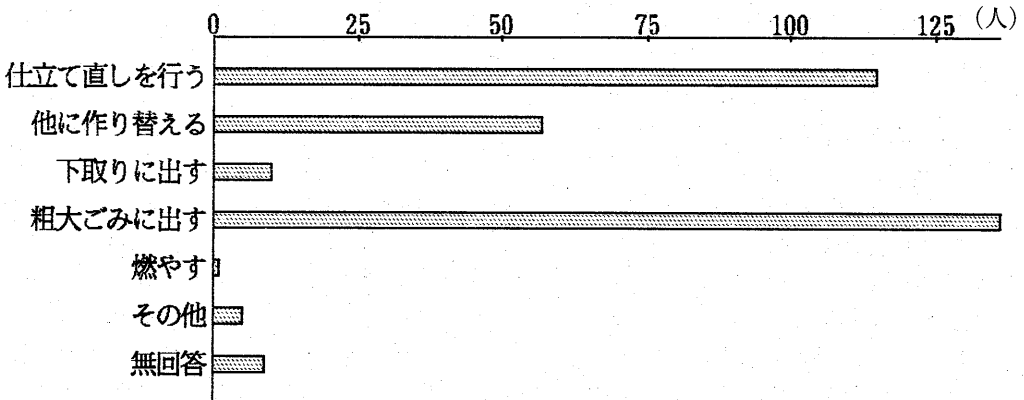


図28 古い布団の処分方法 N=333

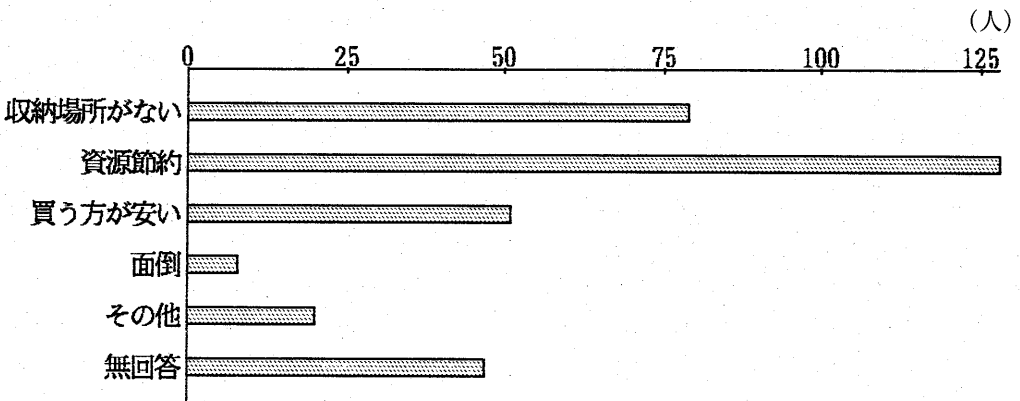


図29 古い布団の処分理由 N=333

節約をしている人は、54.7%である。この比率は文献値33.6%¹²⁾より多い。そして作り替えるものとして座布団が多い。

“粗大ゴミとして捨てる・燃やす”は41.1%で文献値35.1%¹²⁾より多い。その理由として“収納場所がない・新しく買ったほうが安い・面倒”があげられる。その他として“不衛生だから・古くなるとダニがついているように思える・わたの打ち直しにも限界があるから”などがあげられている。

このようにいろいろな理由で布団が粗大ゴミとして捨てられているのは、布団は手入れをすれば長年月使用できるということを知らず、あるいは価格本位で購入したために使用中の品質の劣化が甚だしく使い捨てとなり、面倒がって消耗品として扱うようになった結果、粗大ゴミを増やしていると思う。

〈アンケートに対する意見・感想〉

- 色々な布団を使ってみたが、天然材のものが使い心地は良いと思う。木綿・羽毛・羊毛など季節ごとに使い分けている。(30~40代女性・専業主婦)
- 布団の取扱いを教えてほしい。(30~40代女性・専業主婦)
- 古い布団を4枚粗大ゴミに出したが、捨てるのも一苦労なので引き取ってくれるところがあれば好都合だと思う。(50~60代女性・無職)
- 本当は掃除機までかけたいが、面倒なのでしていない。ダニが最近多いので、一番効果が上がる手入れの方法を知りたい。(20代女性・会社員)
- 小学生の時、母に良く布団の作り直しを手伝わされた。今はもう母も年老いて自宅で作り直すことはないが、こまめに布団屋に頼んでいる。(30~40代女性・専業主婦)
- 打ち直しをすれば新品同様に使えるのに平気で捨てて新しい物と買い替える人達が多い。また、社会でも新しい物を買わせる

様にしている事もあり、消費者もそれに乗せられてつい古い物を捨てて新しい物を買ってしまう悪循環の様子が見られる。このような悪循環をなくし、物の大切さを理解し、ひとつの物を大事に粗大ゴミを作らぬ様、私達消費者がもっと考え、出来る事から実行してゆくべきだと思う。(30~40代女性・専業主婦)

- 丸洗いを1度試された方は、料金的にも安上がりな為(打ち直しの半額位だと思う)その仕上がりを見て他の布団も丸洗いされるようだ。使い捨てるの若い世代に移るに従って、手軽で格安な手入れで何年か使い、そして買い替えるという事になるような気がする。(30~40代女性・クリーニング業)

4. ま と め

- ① 高校にも依頼したにもかかわらず高校生の回答者は14.5%で、72%が30~60代の女性である。したがって、本結果は家事の責任者の立場からの実態の把握になった。
- ② 回答者387名のうち敷布団の使用者は333名の86%で、そのうち18.8%はベッドを使用している。また、中わたは木綿のものが76%で5年以下の新しい布団が多かった。
- ③ 日常の手入れは、90%が日干しを3~5時間行い、殺菌効果を期待している。
- ④ 仕立て直しの経験者は約77%だが90%が布団屋に依頼している。自分でできる人は50代以上の64.7%で、40代以下では23.5%しかなく、仕立て直しの技術伝承が消滅するのも近いと思える。
- ⑤ 丸洗い方法が開発されてから6年にしかならないが、86%が不確実ながら情報を持ち12.3%が経験しており、浸透速度はかなり速い。
- ⑥ 古い布団の処分は16.5%が座布団など

に作り替えているが40%が粗大ごみとして捨てており、その最大の理由は収納場所の不足と偏った不潔感である。

物に対する価値観は人や環境によって異なる。生活が豊かになった今こそ、いかに寝心地の良い布団で心身ともに疲れを癒すことが出来るかを考える時ではないかと思う。良い品質の布団を用い、打ち直し・仕立て直し・丸洗いを上手に利用して、布団をより長く使用し、資源節約とごみ処理問題を考慮した行動が出来るような、表示を含めた消費者社会教育の必要を痛感した。

この調査を実施するにあたりご協力いただいた方々と内田尚美氏に深く感謝する。

5. 引用文献

- 1) 小学校家庭科5年：昭和60年3月文部省検定済，開隆堂出版 K.K.，3（昭和60年12月5日発行）
- 2) 家庭一般：昭和56年3月31日文部省検定済，東京書籍 K.K.，27，62（昭和59年2月10日発行）
- 3) 家庭一般：昭和56年3月31日文部省検定済，中教出版 K.K.，26（昭和59年2月10日発行）
- 4) 高校家庭一般：昭和56年3月31日文部省検定済，実教出版 K.K.，21（昭和59年1月25日発行）
- 5) 新版家庭一般：昭和56年3月31日文部省検定済，教育図書 K.K.，152（昭和59年2月5日発行）
- 6) 家庭一般：昭和56年3月31日文部省検定済，K.K.学習研究社，70（昭和59年1月20日発行）
- 7) 平田昌・平松園江・高木葉子：寝具についてI，生活科学，5（3）188（1962）
- 8) 前川清子：長崎県の寝具に関する実態調査，長崎短大紀要，16，77（1969）
- 9) 前川清子：長崎県における被服調整に関する調査—寝具について—，長崎短大紀要，22，47（1975）
- 10) 前川清子：長崎県における被服調整に関する調査—寝具の経年的変化について—，長崎短大紀要，23，49（1976）
- 11) 高月智志子：夜具について—半分は枕で暮らす五十年—：衣生活，10，10（1969）
- 12) 寝具の所有実態調査報告書：昭和59年2月，兵庫県立生活科学研究所
- 13) 日本寝装新聞（昭和62年1月18日）
- 14) 婦人白書1989「生涯学習」と日本の婦人：日本婦人団体連合会編，図表付—2・15・17，ほるぷ出版（1989）
- 15) 平成元年度版 労働白書 高年者雇用と女子パートタイム労働の現状と課題：労働省編，付16，日本労働協会（1989）
- 16) 寝床に関する主婦調査：FRESH DATA，K.K.東芝，S.63，12
- 17) 一棟宏子・上林博雄：衣類および寝具の収納について（第2報）寝具の保有傾向の推移と寝具収納スペースの実態について，家政誌，33，553（1982）
- 18) 一棟宏子・上林博雄：衣類および寝具の収納について（第3報）就寝様式による使用寝具の差異について，家政誌，35，46（1984）
- 19) 商品科学研究所：変わりつつあるふとんライフ，CORE NO.46（1986）
- 20) 吉川翠：洗濯とダニ，洗濯の科学，35（2）2（1990）
- 21) 館野幸司：環境アレルゲンとその対策—ダニを焦点として—，感染・炎症・免疫，19（2）15（1989）
- 22) ダニアレルギー調査結果中間報告会：西宮市環境衛生局，昭和63年7月25日
- 23) 雙田珠己・矢島直子・太田俊子：現代生活に求められる寝具の快適性，織消誌，28（10）10（1987）
- 24) 兵庫県立生活科学研究所研究報告第2号：ふとん乾燥に関する研究，1987
- 25) 西出伸子：未発表（昭和63年4月15日）

敷布団の手入れについての調査

私どもの研究室では、敷布団の手入れについて調査することになりました。

お忙しいところ、御面倒とは思いますが、以下のアンケートに御協力お願い申し上げます。

アンケートで、皆様に御迷惑をおかけすることはないと思います。

記入上のお願い

- ★ 御自分が、現在使用しているものについて、お1人1枚ずつ御回答下さい。
- ★ 回答は、該当する箇所に○または、言葉を御記入下さい。
- ★ 原則として、1問1答とさせていただきます。
- ★ 各問いの右側にある□には、何も記入しないで下さい。

文教大学教育学部被服整理研究室

A. 敷き方と種類について

- a. 使用状態 ①畳+布団 ②ベッド+布団 1
- b. 使用枚数 ①布団1枚 ②布団2枚
③マットレス+布団 ④ベッドパットなど 2
- c. bで①②③に、お答えになった方にお聞きします。
使用年数：①1～3年 ②4～5年 ③5年以上 ④10年以上 3
中 綿：①木綿わた ②木綿わた+毛織わた ③毛織わた
④羊毛わた ⑤その他 () 4
- d. 布団の上げ下ろし、または、ベッドメイキングはどなたがなさいますか？
①本人 ②配偶者 ③父 ④母 ⑤祖父 ⑥祖母
⑦兄弟姉妹 ⑧子ども ⑨その他 () 5

B. 普段の手入れについて

- a. ①日光に干す ②布団乾燥機を使用 ③日光干しと布団乾燥機を使用
④その他 () 6

b. aで“日光に干す”と回答した方にお聞きます。

方法：①干すだけ ②干した後、たたく ③干した後、たたいてはらう

④干した後、はく ⑤干した後、掃除機をかける

⑥その他 ()

7

時間：①3時間以下 ②3～5時間 ③6～8時間 ④8時間以上

8

c. 布団干しは、どなたがなさいますか？

①本人 ②配偶者 ③父 ④母 ⑤祖父 ⑥祖母

⑦兄弟姉妹 ⑧その他 ()

9

d. 日光干しで期待する効果は何ですか？（複数回答可）

①暖くなる ②軽くなる ③ふくらむ ④乾く ⑤殺菌効果

⑥ほこりが出る ⑦その他 ()

10 11 12 13 14 15

e. 手入れの仕方は、どこで教わりましたか？

①家庭 ②学校 ③社会教育（主婦講座など…） ④テレビ ⑤新聞

⑥その他 ()

16

C. 使った布団の手入れについて

a. 丸洗いを知っていますか？ ①知っている ②知らない

17

b. 丸洗いは、何で知りましたか？（複数回答可）

①店頭広告 ②チラシ ③口コミ ④テレビ ⑤新聞

⑥その他 ()

18 19 20 21 22

c. 丸洗いをなされたことがありますか？ ①ある ②ない

23

d. 丸洗いは、どこでなさいましたか？

①クリーニング店 ②布団屋 ③生協（生活協同組合） ④自分でする

⑤その他 ()

24

e. 仕立て直しをなされたことがありますか？ ①ある ②ない

25

f. 仕立て直しは、どこでなさいましたか？

①布団屋 ②生協 ③自分でする

④その他 ()

26

g. 御自分で仕立て直しをなさっている方は、どこで教わりましたか？

①家庭 ②学校 ③社会教育 ④テレビ ⑤新聞

⑥その他 ()

27

D. 古い布団の処理について

a. ①仕立て直しをして一生使う ②粗大ごみとして捨てる ③燃やす

④他のものに作りかえる (例えば)

⑤その他 ()

28

b. なぜ、そのようになさるのですか？

①収納場所がない ②資源節約 ③新しく買ったほうが安い

④面倒だから… ⑤その他 ()

29

E. あなたについてお知らせ下さい

a. あなたの性別 ①男 ②女

30

b. あなたの年齢

①20才以下 ②20才代 ③30～40才代 ④50～60才代

⑤70才以上

31

c. あなたの職業

①専業主婦 ②自営業 ③サラリーマン ④パートタイマー

⑤学生 ⑥無職 ⑦その他 ()

32

d. 世帯主の職業

①自営業 ②サラリーマン ③無職 ④その他 ()

33

e. 家族構成

①1世代家族 ②2世代家族 ③3世代家族 ④4世代家族

大人 () 人 18才以下 () 人

34

f. 住まい

①一戸建 ②集合住宅 ③その他 ()

35

g. 住所

_____ 県・都 _____ 市 _____ 区 _____ 町

☆ 御意見・御感想がありましたら書いて下さい。

御協力ありがとうございました。